

# 大学教育カンファレンスin徳島

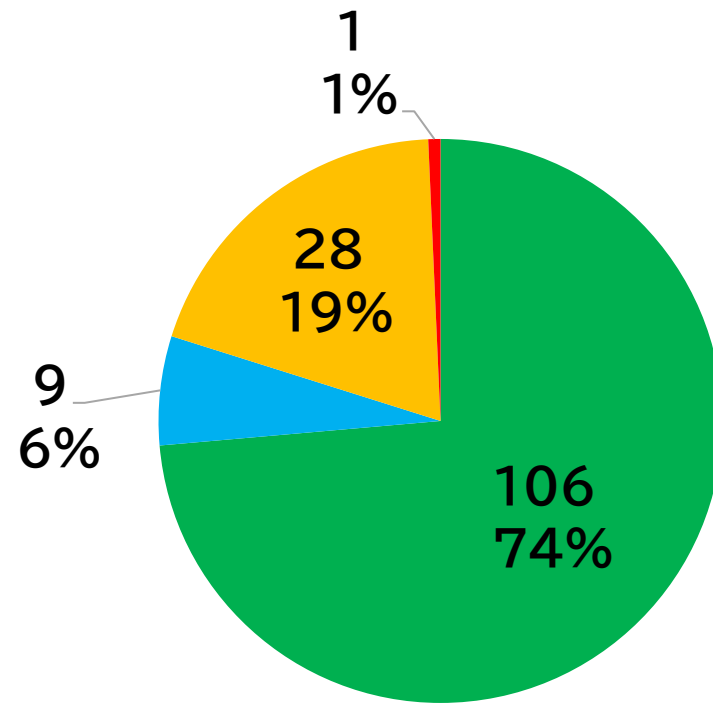
直近5年間の研究発表(口頭発表、ポスター発表)の内容、分析データ・資料、考察・分析方法のまとめ

回	年度	日程	実施方法	口頭発表	ポスター発表	参加者数
第14回	2018	2018年12月26日	対面	14件	18件	147名
第15回	2019	2019年12月26日	対面	15件	14件	124名
第16回	2020	2021年1月8日	オンライン	15件	14件	167名
第17回	2021	2022年1月7日	オンライン	16件	12件	215名
第18回	2022	2022年12月27日	オンライン (一部対面)	18件	8件	157名

発表総数:144件

# 研究代表(第1発表者)の職種

(N=144)



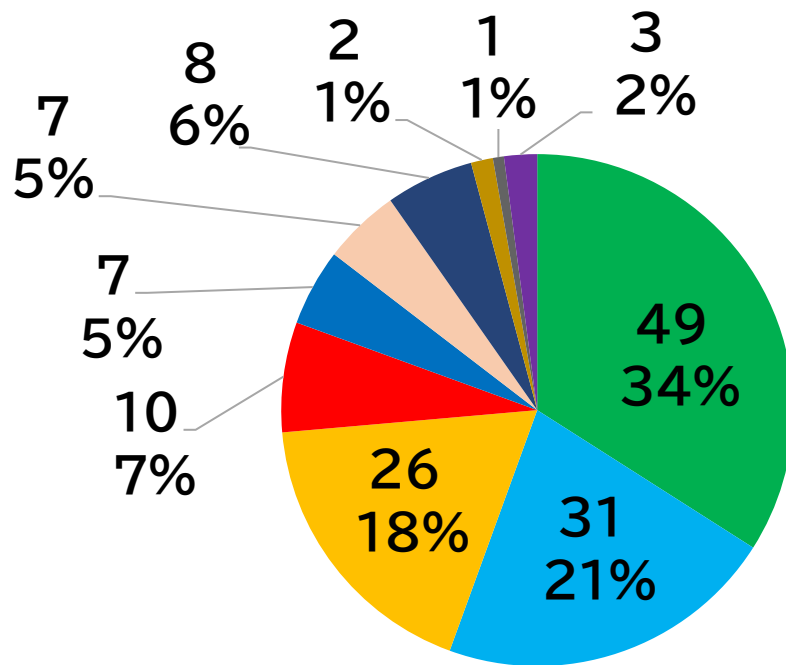
約75%は教員による発表であるが、約20%は学生・大学院生が発表しており、職員による発表も存在する。

■ 教員 ■ 職員 ■ 学生・大学院生 ■ その他

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

# 発表する教育実践の内容

(N=144)



- 授業・実習
- 公開講座・出張講義等の講習会
- 教育革新・FD
- その他

- 教育プログラム
- 教材開発
- 学習支援

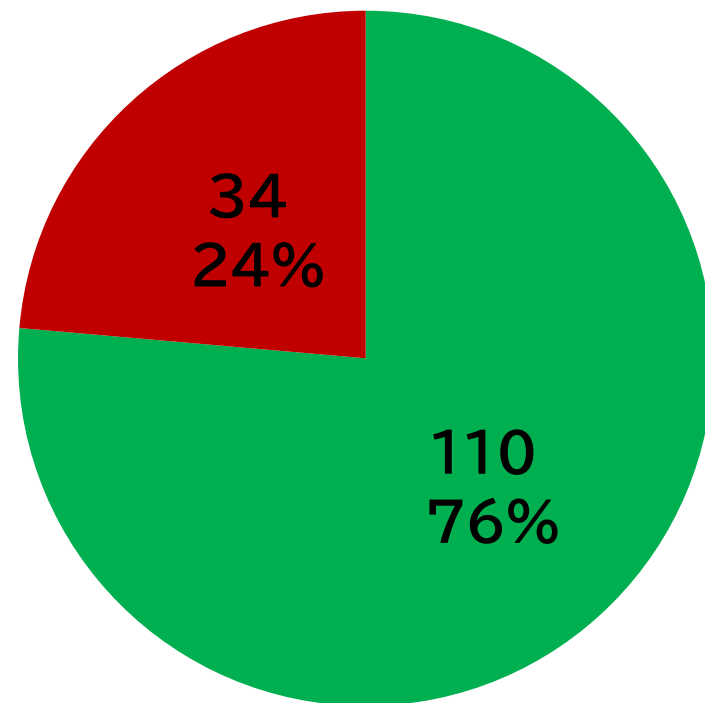
- 学生による課外活動
- 調査研究
- レビュー研究

- ✓ 55%(約半数)が、授業・実習(34%)や教育プログラム(21%)の実践である
- ✓ 約20%は、学生による課外活動に関する内容である
- ✓ 10%は公開講座・出張講義等の学外の講座に関する内容である

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

# データによる検証、先行研究・資料等のレビューの有無

(N=144)



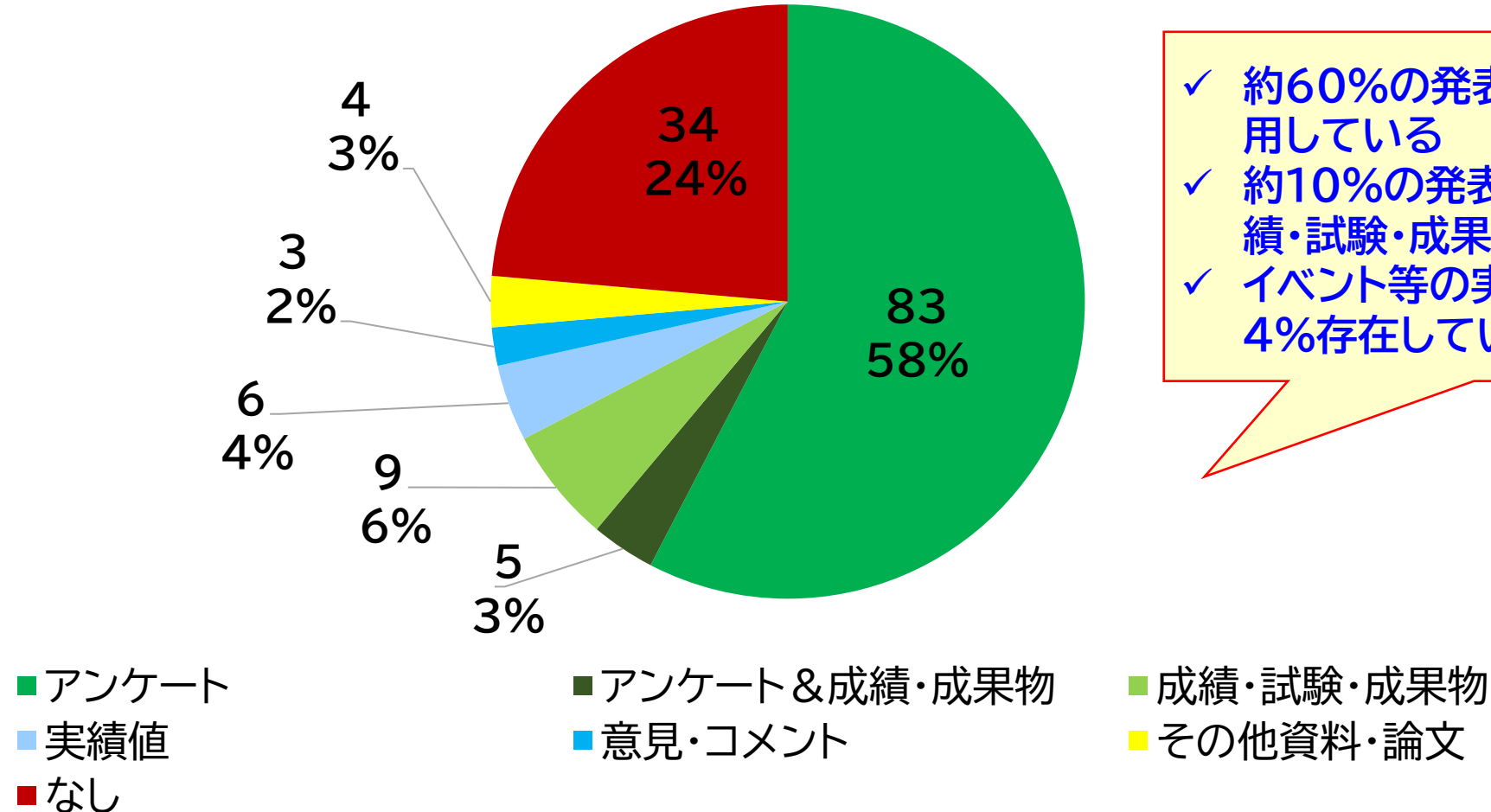
■あり ■なし

約4分の1の発表は、データによる検証、先行研究・資料等のレビューがなく、発表者の考えに基づいて考察している。

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

# 発表に使用したデータ、先行研究・資料等の内訳

(N=144)

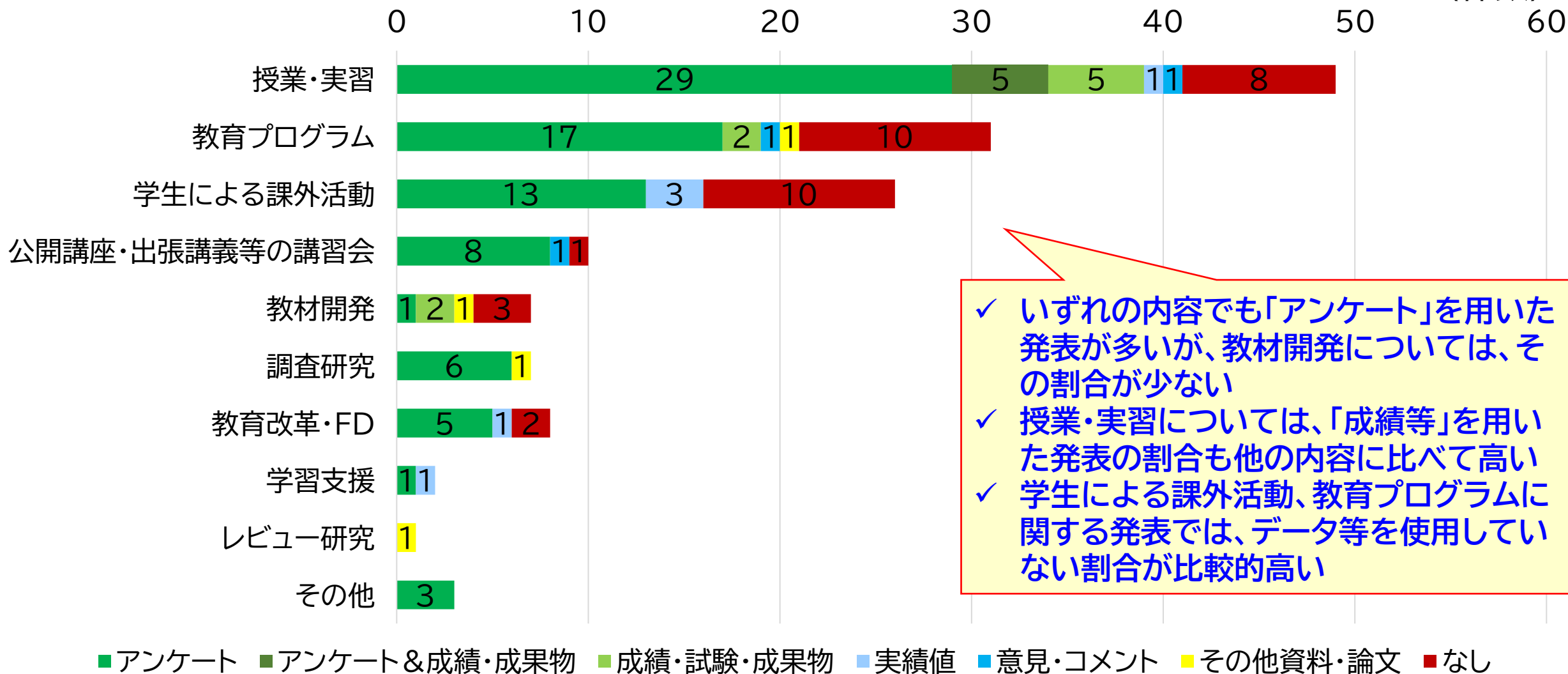


- ✓ 約60%の発表で「アンケート」を使用している
- ✓ 約10%の発表で、「(授業等の)成績・試験・成果物」を使用している
- ✓ イベント等の実績値を用いた発表も4%存在している

※グラフの数値は、上段は人数、下段は割合を示している

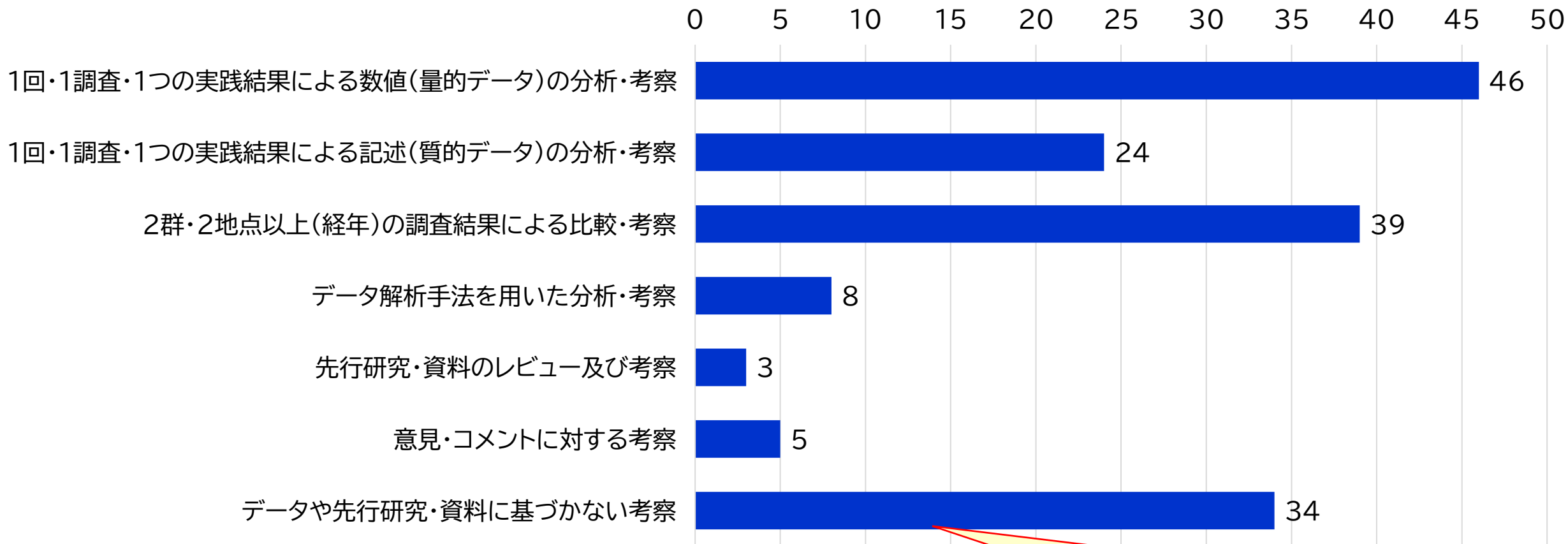
# 発表内容別の検証データ・資料等の内訳

(N=144) (件数)



- ✓ いずれの内容でも「アンケート」を用いた発表が多いが、教材開発については、その割合が少ない
- ✓ 授業・実習については、「成績等」を用いた発表の割合も他の内容に比べて高い
- ✓ 学生による課外活動、教育プログラムに関する発表では、データ等を使用していない割合が比較的高い

# 考察・分析の方法の内訳(複数カウントあり) (件数)



※複数の方法を用いるなど、重複してカウントしている発表が含まれている  
※調査結果とは、アンケートの回答・成績・実績データ等  
※データ解析手法は、推測統計による分析を含む(記述統計のみによる考察は含まない)

- ✓ 70件(約50%)が1回・1調査・1つの実践による検証である
- ✓ 39件(約27%)は、2群・2地点以上(経年)の調査による検証である

今年度は、**遠隔地からのオンライン参加を可能**とした、**対面によるカンファレンス**を行います。

もし、何か実践報告のアイデアが思いついた方は  
こちらをクリックしてください↓

<https://forms.office.com/r/J6kuUMyymA>

(第19回大学教育カンファレンスin徳島の発表申込サイトです)

発表申込を心よりお待ちしております！！  
10月13日締め切りです。